

府中市総合教育会議会議録

1 開会の日時

平成 28 年 9 月 28 日（水） 教育委員会 会議室
15 時 30 分 開会

2 出席委員

戸成市長、平谷教育長、田中委員、井上委員、骨田委員、古川委員
(6 人)

3 委員以外の出席者

船尾副市長 石川総務部長 大和人事秘書課長
皿田人事秘書課課長補佐 栗根教育部長 河本総務課長
竹内学校教育課長 谷口生涯学習課長
岡総務課主幹 近藤総務課庶務係長

4 傍聴者

0 名（報道機関 3 社）

5 協議事項

- (1) 府中市教育大綱の進捗状況について
- (2) 平成 29 年度の取組みについて

16 時 50 分 終了

平成 29 年度総合教育会議

戸成市長 失礼いたします。平成 29 年度の府中市総合教育会議をこれから開会いたします。

皆さん知った人ばかりですけども、忙しいのにおいでいただきましてありがとうございます。

本日の会議では昨年 11 月に制定いたしました教育大綱の進捗状況について、そして来年度の教育関連の取り組みについて協議をしたいと思っておりますので活発な御意見をよろしくお願いいたします。

それでは協議に入ります。

一つ目は府中市教育大綱の進捗状況についてでございます。この間の取り組みについてまずは皆さんへ、教育長からお話をいただきたいと思っております。

教育長 それでは初めに、昨年 11 月に府中市教育大綱を策定し、それを踏まえて教育委員会事務局としてさまざまな取り組みを進めているところでございますけれども、昨年度からそして本年度現在までの進捗状況について私からは主立ったものの概要ということでお話をさせていただき、詳細につきましては各担当課長から説明をさせていただきたいと思っております。

私からは 3 点について説明をいたします。教育大綱をお配りしてありますが、その中のまず 1 点目は 1、「小中一貫教育を推進し、たくましく生き抜く力の養成」の 4 番ですね。「グローバル教育の充実について」御説明いたします。

昨年度から実施をしておりますところのグローバルキャンプにつきましては、異なる文化を持つ人と自らコミュニケーションをとり視野を広げていくこと、あるいは英語での実践的なコミュニケーション能力の向上を図ることを目的に、昨年度、今年度と実施いたしておりますけれども、昨年度は 50 名、そして今年度は 36 名の小中学生を対象に実施をしております。参加した児童生徒からは非常に高い評価を得ておまして、これは来年度もぜひ参加したいという声が非常に多く聞けているところでございます。ただ今年度の参加人数は 50 名から 36 名

と減っているようですけれども、実はこれは宿泊場所等の関係で本年度、人数制限をいたしまして実際の応募人数は昨年度から大幅にふえているという状況で半数近くの子どもさんには遠慮していただいた経緯がございます。もっと広い場所でできればもっと多くの子どもの参加が可能なんだなあということでもちょっと悔しいところもあるんですけれども、そういった状況で今、実施をさせていただいているところでございます。

また本年 8 月からは A L T を 1 名を増員いたしまして現在 4 名体制で各校の英語教育、そして外国語活動の充実を図っている状況でございます。

また、府中明郷学園ではこの 2 学期からイングリッシュルームを開設いたしまして、A L T と日常的に会話ができる環境も整えているといったところでございます。

それが 1 点目でございます。

続いて 2 点目でございますけれども、2 の「伝統と文化の継承」の 1 番ですね、「備後国府を生かしたまちづくりについて」でございますけれども、皆さんこれは御承知のとおりでございますが、備後国府跡の国史跡指定につきましては三十数年にわたる発掘調査等を踏まえまして、この 1 月に報告書等を作成し、文化庁に意見具申をしておりましたけれども、6 月 17 日に国の文化審議会が文部科学大臣へ答申をし、念願でございました指定というものがいよいよ現実化する運びとなっているという状況でございます。正式には近日中だと思えますけれども、官報で告示をされます。それをもって正式指定という状況でございます。これが現在のところでございます。

それから 3 点目でございますけれども、3 の「学びあえる地域社会の形成」というところの 4 番ですね、「スポーツ活動の充実について」でございますけれども、これにつきましてはスポーツ基本法が国で制定されましたけれども、それに基づきましてこの 3 月に府中市でも府中市スポーツ推進計画、この計画をスポーツ関係者など市民の皆様を初め、行政職員の協力を得まして策定をしたといったところでございます。現在この計画を踏まえまして、スポーツの推進あるいは指導者養成の講座あるいは健康づくりの講座などを進めているといったところが現

状でございます。

私からは概略の説明でございますけれども、詳細につきましてはこの後、各課長から報告をさせていただきます。

大綱の順番でお願いします。

竹内課長

失礼いたします。まずⅠの「小中一貫教育を推進し、たくましく生き抜く力の養成」ということで、平成 27 年度実績及び現状についてまずはお話をさせていただきます。

まず確かな学力の向上でございますけれども、平成 27 年度広島県の基礎・基本定着状況調査におきまして小中学校とも全ての教科で県平均を上回ったところでございます。

平成 27 年度の全国学力・学習状況調査におきましては、中学校の理科が若干全国平均を下回った状況がございましたけれども、他の教科につきましては小中学校とも全国平均を上回ったといった状況でございます。

現状でございますけれども今年度、平成 28 年度の広島県基礎・基本定着状況調査において小中学校とも全ての教科において県の平均を上回ったところでございます。また、今年度の全国学力・学習状況調査におきましても県で先ほどの基礎・基本小中学校とも全ての教科で全国平均を上回ったといった状況でございます。

加えまして義務教育学校及び中学校併設型小学校並びに小学校併設型中学校の移行に向け、現在取り組みを進めているところでございます。

昨日も開催をいたしましたけれども、現在までに 3 回、小中一貫教育改革会議を立ち上げまして開催をしたところでございます。昨日は市としての方向性を明確に示したところでございます。また 9 月議会においても義務教育学校についての説明を教育長から行ったといった状況でございます。これが 1 点目でございます。

そして最後の 4 の「グローバル教育について」報告をいたします。

先ほど教育長からもございましたけれども、昨年度は新規事業としてグローバルキャンプを実施いたしました。児童生徒総勢 50 名が一泊二日の宿泊体験を行う中で A L T あるいは外国

人ボランティアの方、さらには留学経験者等のこういった活動を通した中で国際感覚を身につける一步を踏み出したといったところでもございました。このことを受けまして、今年度も2回目を実施したところでもございます。

小学校5年生から中学校3年生まで今年度は児童生徒36名が参加して実施いたしました。今年度も県教育委員会の共催のもとに県内の外国人留学生、そして留学経験のある高校生さらにはALT、中学校の外国語教諭等々の協力を得る中で実施したところでもございます。新たに地元の企業でもございますリョービ株式会社様、そして株式会社北川鉄工所様、この2社においていただきましてそれぞれイギリスとタイでの海外勤務経験がございまして、そんな経験を通して日本と他国の違いをといた視点で子どもたちに話をいただいたという状況でもございます。そういったことを経験しながら、最終日にはグループごとに外国の文化の違いについて寸劇により子どもたちが発表、表現をしたところでもございます。子どもたちの振り返りを見てみますと、英語によるコミュニケーション能力を身につけることはもとより、グローバルな世界に接して多様な人々と協働し課題の解決を図っていく。そのためにはやはり自分自身が意識を変えること、あるいは積極的に意見を伝えなきゃいけないと、こういったことの記載が多く見られたところでもございます。

河本課長

続きまして、次に大きい項目の2番、「伝統と文化の継承について」でもございますけれども、2項目でもございますが、そのうちの「備後国府を生かしたまちづくり」について説明したいと思います。

先ほど教育長からありましたように、意見具申ということでも、27年度に国史跡の指定に向けまして報告書の刊行、それから地権者との指定同意等の取り組みを行いました。報告書の刊行につきましては指導委員の先生方との協議を3回行っております。それから文化庁からも現地調査に来ていただきまして、その意見を参考に報告書を何とか刊行できたということでもございます。それと地権者の指定同意の取り組みにつきましては10月に、27年の10月に地元説明会を行いまして、それを終えて10月の終わりから1月にかけて指定同意の実際に地

権者の方をお願いしていったところでございます。

それで、1月末には文部科学大臣へ意見具申書を提出いたしました。28年の6月17日でございますけれども、文化審議会の答申により国史跡に指定されることが決定し、近日中ということをお知らせしたけれども、10月以降の早い段階、時期に官報告示される予定でございます。結局指定区域といたしましては、ツジ地区が、約でございますけれども、1万4100平方メートル、金龍寺東地区が5400平方メートル。合わせて1万9500平方メートル、これについて指定するということで答申が出ておりましたので内定もいただいております。

28年の、今年度でございますけれども、近々、官報告示されるということを見越しまして29年度以降で行う予定の保存活用整備基本整備実施計画の策定に向けまして、保存活用計画策定に向けた策定委員会の設置準備を行っているところでございます。この来月、10月には文化庁の調査官が再び、文化庁調査官に来ていただきまして、これらについての協議、指導を受けることになっております。それから本年度の取り組みですけれども、6月以降に史跡指定に伴うイベントであるとかパネル展、歴史講座などの実施、史跡指定の懸垂幕やのぼりの設置等を行ってまいりましたけれども、正式に官報告示により国史跡指定になるということ、今年度中になるということでございますので、学びフェスタでのパフォーマンス、それから年が明けて記念講演会等を企画しているところでございます。また、28年の1月から7月にかけて行いました鳥居地区の調査におきましてその地点が古代山陽道と政庁への進入路の結節点である、備後国府にとって重要地点であることが確認できましたので、ということで現在事業課が行っている公園整備も追加指定を見越した整備を行うよう今、協議をしてほぼ公園の図面が、案ができて上がっているところでございます。これにつきましても指導委員の先生方、文化庁の調査官に来ていただきまして、意見を伺った上で案をつくっております。

私からは以上です。

竹内課長 それでは続きましてⅢの項目、「学びあえる地域社会の形成」

について説明をさせていただきます。

まず2の「コミュニティ・スクールの充実について」でございますが、27年度の実績でございますが、平成27年4月に栗生小学校そして南小学校の2校をコミュニティスクールに指定いたしました。府中明郷小中学校に続きまして、市内全4校の指定となっております。指定校並びにまた研究指定校におきましては、それぞれ工夫した特色ある取り組みを行いまして学校、保護者、地域が一体となって子どもたちを育むといったその歩みが一步一步でございますけれども、進められてきたところでございます。

そして28年度現在でございますけれども、ことし4月に新たに府中小中学校をコミュニティスクールに指定をいたしました。現在全12小中学校のうち半数となる6校を指定するに至ったといった状況でございます。

また文部科学省の研究指定校といたしまして、上下学園の3校、そして今年度新たに国府小学校と旭小学校の2校、研究指定とした状況でございます。それぞれ5校が取り組みを進めております。

幾分か今年度の指定校の取り組みを御紹介させていただきます。

まず府中明郷学園でございますけれども、地域からの要望を受けまして運動部員が地域の石垣にモルタルを詰めるといった補修復工事という地域貢献の活動を行ったところでございます。明郷学園の学校経営の中では恕の心と思いやりといったことを位置づけておりまして、その一環として「グッ恕部大作戦」というものに取り組んでおりまして、その一環として地域貢献に努めていったところでございます。

南小学校でございますけれども、古代山陽道の遺構が見つかった鳥居地区に6年生とともに保護者の方と地域の方が参加されまして、6年生とともにふるさとの歴史について学習をしたといった状況でございます。

また、地域企業で活躍をされている先輩を学校へ招きまして仕事についての話を聞くなど学びを基軸にして、コミュニティスクールの取り組みを進めていった状況でございます。

栗生小学校でございます。ここにつきましては地域の活性化といった観点で地域行事へ子どもたちの参加をいかに図っていくかといった取り組みをされております。スタンプラリーを取り入れる工夫をされたり、そういった中で取り組みが進められていく中、栗生小学校の今年度、全校児童が全員そろひ日がふえてきているといったことの報告を受けているところでございます。

最後、府中学園でございますけれども、今年度7月23日に行われました備後国府まつりにおきまして、「国府まつり in 府中学園」を開催したところでございます。今年度は新たに校舎内にもさまざまな体験ブースを設置いたしまして、ここには児童生徒を初め多くの保護者、そして地域の皆さんの参加をいただいで盛大に開催できたという状況でございます。

私からは以上です。

谷口課長

それでは続きまして、Ⅲの「学びあえる地域社会の形成」の4番目でございます「スポーツ活動の充実について」、進捗状況等の御報告をさせていただきます。

まず先ほど教育長の説明にもございましたが、本市のスポーツ振興の指針となる府中市スポーツ推進計画を今年度3月に策定いたしました。平成28年度はこの計画に掲げた目指すべき姿として挙げております文化スポーツ活動を楽しめる府中を目指しまして、4つの基本目標、まず一つ目が、全ての市民がスポーツに親しみ楽しめる活動とする推進。2番目に競技スポーツの推進、3番目にスポーツ活動を支援する環境の整備、4番目にコミュニティスポーツ推進によるまちづくりの、以上の目標を達成するためにさまざまな取り組みを行っておるところでございます。

今月までの具体的な取り組みで申しますと、8月25日NHKラジオ体操を協和グラウンドで開催いたしまして1100の方にお集まりいただきました。また9月11日に行いました府中陸上競技会におきましても、マスターズ女子部門の新設、またマスターズ男子60メートル、中学男子1500メートル、小学校男女の1000メートル等の種目の増を行いましてより多くの方に参加しやすい体制づくりを行いました。

また、全てのスポーツの基本になります体幹を鍛えるための体幹トレーニング講座を9月から生涯学習センターで開設しておりますが、多くの方にお申し込みをいただきまして、御好評を得ているところでございます。

また、性別や年齢にかかわらず非常に親しみやすいスポーツとしてティーボールというものの推進にも取り組んでおるところでございます。10月以降の今年度下半期におきましても、こうした計画の目的を達成するためのさまざまな取り組みを行っていきたいと思っております。直近で申しますと、10月に開催する学びフェスタにおきましても初めて平成大学と連携いたしましたスポーツイベントを実施する予定でございます。

以上でございます。

河本課長

それでは最後です。「安全・安心な教育環境づくり」ということで、その中3項目のうち「学校施設の整備充実について」説明したいと思います。

25年度に学校の耐震化工事を府中市の場合は完了しましたがけれども、昭和40年代、50年代に建設した学校施設もありまして多くの体育施設、設備が老朽化しております。ということで早急な改修が必要であるということですが、特に老朽化した3校。旭小、南小、栗生小の早急な内部改修が必要であるということで、27年度はまず旭小学校の天井扇の設置、照明の増設、職員室の天井張りかえ等を行ってきました。28年度につきましては、現在体育館の屋根の塗装工事を行っているところでございます。それとトイレ改修につきましては、事業課と具体的な工事についての協議をしているところでございます。28年度から30年までの3か年でまずこの3校のトイレの改修を優先的に行う予定でございます。

簡単ですが、私からは以上です。

戸成市長

それでは協議に入りたいと思っておりますが、一つ目は最近の進捗状況についてでございますが、何か御意見はありませんか。

骨田委員

グローバル教育の充実についてですけど、グローバルキャンプ、応募数が昨年よりも増加しているのにもかかわらず半数のお子さんは御遠慮いただいたということで、大変もったいないことです。教育委員会も感じておりますので、何か場所がどう

にかいい設定ができれば。ぜひ、学びたいと思っている子どもたちには学んでいただきたいと思いますね。

戸成市長　　そうですね。希望者が全員入れればいいわね。何か工夫をしないと。やっぱり希望者があるというか、よくあるんでね。何かこう体育館でも、大きい体育館でもやるとかね、何か工夫をしてみたらいいんじゃないかと思いますけどね。

教育長　　府中市内で実施をしておるので、その活動場所は、ある程度あるんですよ。ただ宿泊の問題がありまして、じゃあ2回すればいいかなというのも意見というかあるんですけど、一泊二日、かなり労力が要って、いろんなところから人に来てもらって、留学生とか集めますので。なかなか2回、これを実施するだけの体力が今うちの中にないので、どうしても1回だけになってしまうんです。何か、実を言いますと今年も去年も参加した子がおるんです。最終的には抽選にしましたので、それだけ希望も多いとまだ参加してない子を優先的にするのか、そこら辺は工夫しながら、より多くの子がそういう体験をできるようにしていかなきゃなというのはあるんですけどね。これはまた知恵を出しながら可能な限りふやす方向では考えてはみたいと思うんですけど。

戸成市長　　はい、ほかには。

田中委員　　感想が幾つかあるのですが、27年の実績と今年度の取り組みということで、おおむね以前からの府中学びプランと府中市教育大綱、こちらのほうに移行してからというこの、着実に実施していただいているようになりますので、進んでいっているのではないかと、各項目について進めていっているのではないかと感じております。また次の項で29年度の予定ということでの取り組みを説明していただきますので、またその中でこういうこと具体的なことお話しさせていただければいいかなと思います。今のところでは着実に進んでいるなという感を持たせていただきます。

戸成市長　　ほかに28年度のことですかね、何かお考えとか。

井上委員　　備後国府の指定を受けることになりましたがもっと、いわゆる府中にとっても特に・・・というか、観光資源のまさに活用することもあって、道の駅も近々できることになるんですが、そ

ちらのほうはよりPRの方法なんか、いま一つまだ広い範囲でだんだんとやっていけるような方向にも持っていかれたらどうかなと思います。

戸成市長 府中市の誇りでもありますので、本当に官報でお知らせがあると思いますが、そうしたときにしっかりと、何か考えていらっしゃる。

河本課長 やります。

戸成市長 やりますか。ちょっと説明を何か。

河本課長 官報告示といいますか、正式な決定自体は官報で告示、前ぶれなくされるみたいなので、そこですぐというわけにはいかないんですけれども、先ほどちょっと触れましたように、もちろん道の駅も何らかの形で参加しないといけないと思っておりますけれども、教育委員会としては学びフェスタが10月の終わりですけども、その中で備後国府に、地にふさわしいようなイベント、具体的に言えば雅楽、これを天理大学から呼びまして絵巻みたいな物語的なものをしていきたいというのが大きなことだと思います。

それと年が明けまして、まだちょっと具体的なものじゃないんですけども、2月ごろにシンポジウムをしたいと思っております。そのほかちょっとまだ他課との連携が不足しているところがあるんですけども、2回ほど今、3課で集まって。担当者会議ですけども、集まって話をしているところです。具体的なことがまだなかなか出てきてないですが、予算のこともあるんですけども、何か目玉になるものを、お土産みたいなものを企画できればというふうに二、三、今うちのほうでお土産を何か考えてはいるんですけども、今のところそれぐらいです。

戸成市長 できればチャンスというのは余りないので、この際、若干特化したような形でね、学びフェスタを若干特化した形で進めていただくとかね。本当に楽しみにしております。よろしく願いいたします。

田中委員 28年度のこのこと、ここで。まだ9月ですのでそれは、来年の3月までということ、義務教育学校のことにつきましては確かな学力の向上という項に書いてあるんですが、やはり6・3制が今の子どもたちに即しているかとか何か変えていかなければ

ればいけないのではないかというところでいけば、豊かな心の育成という、これは学力と心の育成というところは、離してはいけないということは感じておられるとは思いますが。その中で、やはり義務教育学校で中学校のカリキュラムの中にあるものを小学校と組み合わせることができるようになるとか、何々科という新しい科目をつくって、今までの算数とか理科とか数学とかではなくて何々科という組み合わせでもってそういう、本当の社会で役立つ知識といいますか、その力、生きていく力を育成できる、そういったカリキュラムをつくるのが今の小中一貫のカリキュラムとは別に、ではできないものがカリキュラムができそうというふうな期待感を持ってますので。そのあたりをどんどん推進していただいて、やはり今まで行ってきた小中一貫教育の進化形といいますか、次どうしようか制度を尽くしてきたところでその義務教育学校というものが入ってきましたので、これをほんと来年の4月1日から実施していただいて、できるような体制で、子どもたちにとって学力もそうですし、心の部分もきちっと育てていただけるような環境づくり、そういった準備を28年度でしていただきたいと思います。

そして道徳教育という部分でいけば、やはり教える先生方、教職員の方にもなぜ道徳教育なのかという年間でいけば三十何時間、短い時間ではありますけど、やはり先生方にとってもなぜ道徳教育なのかということをしかりと、どういうふうに教えていくべきかということをしかりと熟知していただいて子どもたちに教えていただけるような。11月にはまた研修もあるということもお聞きしてますので、そのあたりを28年度中にはきっちりとしていただきたいということと、英語教育もやはり来年のことにもかかわってきますけど、どんどん推進ということになれば、もう1名必要なのか、もう2名必要なのかそしてどういうものが必要なのかという、そのあたりも28年度でしかりと考えてしていただければなと感じております。

戸成市長
教育長

何かありますか。

今、おっしゃっていただきましたけれども、義務教育学校につきましては、学力の向上のところへ記載をしておりますけれども、おっしゃるように豊かな心も含めてもっと、さらに本市

は、この小中一貫教育の全てを網羅するものと思っております。それをもって全ての項目が子どもたちをしっかりと育んでいくという認識をしております。そういうこと進めていきたいと思っております。そしてカリキュラム等につきましても、おっしゃるように小中一貫教育を我々が取り組んできまして、さらに小中一貫教育ではまだ手が伸ばせないところをこの義務教育学校に移行することによって手を届けて、より一層子どもたちの学びを充実させていきたいと。このように思っているところです。

したがいまして進化というお言葉をいただきまして、小中一貫教育をより進化、充実させていく、その延長線上に義務教育学校を据えてしっかりと取り組んでまいりたい、このように思っております。

道徳教育並びにグローバル教育につきましても、このあたりは職員の意識といったことも大事になりますので、そこにつきましてはこの道徳教育推進協議会の中でしっかりとそういった各先生方に道徳教育の重要性や、その指導の大切さのポイント等を指導する中で各校へ広めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

戸成市長 なかなか大変ですな。何か古川先生。

古川委員 お尋ねしたいんですが、教育委員会というか、部関係ではそれぞれがそれぞれの仕事を一生懸命されてると思うんです。今基礎・基本のテストとかそういうもので市が、全国平均を上回っているというそういう実態で、それをさらにアップしていくことについて、どうですか、今教育の貧困とかいうことでいろんな社会問題にもなってますし、市としてそういうものを何か手だてといいますか、具体的に何かこうやってみたらと思ってるんだとかいうようなことでもありましたら、この場で。

教育の一体化ですね。

戸成市長 市としては、いろいろ考えるのは考えるんですけど、やはり教育委員会の主体に置いてその中で市が取り組んでいくことは一体何だろうかということを考えるべきものだろうとは思っております。いずれにしても今、この大綱があるわけですから、これに沿って少しでも前へ進める、進化させることが非常に重要だろうと思っております。教育の貧困とかそういう、い

ろいろありますけども、これはこれから教育委員会、あるいは貧困の問題となると福祉の問題にもかかわってまいりますからね、そこら辺の全体的な考えの中でこれからどう取り組むかということが必要であろうと思っております。部分的には難しいと思いますね、これは。

古川委員　　今の経済的な格差の、経済的な貧困の部分でおっしゃってるんですね。

どっちかといったら。学力の。

戸成市長　　学力じゃなしに。

古川委員　　私らもその任期がそう長くないですから、専門しか情報が入ってこないですけども、多分広島県内でもそういう早目に早目にこう、市とか町が動いてそういうことを具体的な話でされてるという形でしていきますと、文化とかそういうスポーツとか教育とかに力を入れている府中市が、じゃあ具体的にどんなことを今されてるだろうかなと自問自答をするわけです。誰かがそこで声を出してしたらええんじゃないかなと言われてるのであれば、今ある組織というんですか、その中でここが使えるのではないかとか、いうものを探し出して、そこをお願いをするとかということも必要ではないかなと思ってるんですけどね。

戸成市長　　少し教育の分野もありますが、ほかの分野もあると、少し範囲が広がってきておるようには思いますが、その辺については今後課題としてしっかりと取り組んでいかなければならない、全体的な、府中市の全体的な教育とかいろんなことがございますが、そういうのも含めて全体的取り組みのため大きな課題でもあるわけですから、徐々にこれからのいろんな機関とも意見を聞きながら、できるものはしていきたいと考えておるんですけどね。

竹内課長　　今おっしゃっていただきました子どもの貧困等のことになれば学校運営協議会のほうにも大きくかかわってくるのだと思ひまして、実は教育、子どもの貧困と福祉ということはやはりつながりが大きい。教育行政と一般行政といいますか、そのつながりで課題の解決を図るという場がこの教育総合会議の場がやはり大きな意味を持っておると思っておりますの

で、こういった場を通して関係課と我々としてもしっかりと連携をする中で、またその解決を図っていきたいと思っております。

戸成市長　ぜひ一つ取り組んでいただきたいと思います。なかなかそう簡単にはいかないと思いますが、それでも課題は大きいと思いますが、それでも少しずつでも取り組んでいくということは大事だと思います。

ほかに何かございませんか。

無いようでしたら、先ほどから大体皆さんの御意見が出ております、学力の向上あるいは心の育成あるいはキャリア教育、グローバル教育というふうなことで、この件については特にグローバル教育について、非常に成果が上がったというふうに私は認識をいたしております。したがってこれからどんどん前を向いて、進めていけたらいいなと思っております。

確かに学力の問題は、これは学校であるからには追求をしていくということは当然のことです。ですので、しっかりと頑張りたいと思います。

それから、私が前々から言っておる道徳教育でございますけれども、これも先ほどの話の中で心の教育というのは非常に大事だということですので、これはしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

それから備後国府を活かしたまちづくりということでございますけれども、これはぜひこの10月5日の時点で正式に決定するというふうなことでございまして、これから長い期間をかけてやはり府中の誇りとなるようなそういうまちづくりに返っていくというふうなことも非常に大事であると思っておりますので、今後皆さん方の取り組みに期待をしたいと考えております。

また、コミュニティスクールについて報告がございました。これは非常にいいことですが、地域へどう、地域との連携をしていくかということで非常に重要なことでございまして、これもぜひ一つ今後とも進めていただきたいと思います。もちろんスポーツの問題でございますけれども、これもラジオ体操をみんなにたくさんの方が来られるとは私は思ってもお

りませんでして、これは生涯学習課の皆さんにはほんとに努力していただいたというふうに理解いたしております。今後ともスポーツというのは非常に体力、特に今の生徒さんは体力が落ちておるということをよく聞きます。そういう意味からすれば本当に一生懸命頑張っていたいただいてやはり文武両道ではございませんが、しっかりと体力を鍛えて、これから体力がなかったら生きていけませんからね。ですからそういうようなところは非常に重要だと思っております。

それから学校施設でございますけれどね、これは御承知のように国の予算等が非常に厳しい状況でございます、大体3分の1、私はよく言いますが、3分の1と言いましても単価は随分違うんです、安いんです。ですから実際は4分の1ぐらいしか補助は来ないような状況なんですね。ですから国のほうの何も、文科省もしっかり頑張っていたいただいてね、予算をしっかりとってもらわんといけんじゃないかなと考えております。しかし、年次計画で少しでも予算を回して、年次計画でしっかりとやっていくことが必要であると思えます。

大体、大まかにはそういうことでございますが、ほかに何か気づかれたことはございませんか。ありませんか。

じゃあ2つ目の議題に入りたいと思えますが、来年度の教育関連の取り組みに係るものでございます。教育委員会事務局各課から、それぞれの重要だと思われる事業について提案を受けております。説明していただければと思えますが、よろしく。

竹内課長

それではまず学校教育課から御説明させていただきます。まず確かな学力になりますけれども、先ほど田中委員さんからもございましたけれども、義務教育学校というのがまさにここの大綱にございますように未来に羽ばたくグローバルな人材の育成、未来に羽ばたく府中っ子。この土台として取り組みを進めていきたいと思っております。

そういった中、けさの中国新聞で府中市の義務教育学校の記事を掲載していただいておりますが、ここに示しているとおりに府中小中学校と府中明郷小中学校を義務教育学校、さらには府南学園と上下学園を併設型小中学校へ、それぞれ設置に向けて今後取り組みを進めていきたい、このように思っているところ

でございます。

さらに豊かな心の育成につきましては、道徳が特別の教科としてなつてまいりますので、そこへ向けて先ほどの校内での実施とともに全面実施へ向けての研修体制、来年度もしっかりと図つてまいりたいと。このように思っているところでございます。

最後グローバル教育の充実でございますけれども、さらなる英語教育の充実に向けてALTを1名さらに増員をしてまいりたいという思い、さらには英検の受験を促進する上で、こういった受験者に対する支援、こういったところで事業を立ち上げてまいりたい、このように思っているところでございます。

以上でございます。

河本課長 備後国府を生かしたまちづくりでございますけれども、29年度におきましては政庁が確認できていないということもございまして、引き続き確認調査は行ふんですけれども、鳥居地区の追加指定に向けまして報告書を来年度は作成していこうと考えております。

それから史跡指定に伴いまして、これから保存活用計画、整備基本計画、整備実施計画等を作成していかなければならないですけれども、先ほども申しましたように保存活用計画策定に向けました策定委員会を設置いたしまして、協議しているところでございます。既に今年度、28年度8月までには現在の備後国府跡調査指導委員の先生方にも、策定委員としてかどうかは別にいたしまして引き続きこれまで以上の協力をいただけることは確認しておるところでございます。

並行いたしまして金龍寺東地区の計画でございますが、具体的に公有地化いわゆる用地買収に取りかかってまいりたいと思います。こちらのほうも国庫補助事業ということで国の予算の関係もございまして、概算要望を既に行っているところでございまして、できるだけ早く取りかかって今は埋蔵文化財ということで表には見えないんですけれども、まず整備していく準備ということで用地買収を行いたいと思つておるところでございます。

それから備後国府の地であったということを知つ

ていただく、先ほどから P R、P R というふうにお話をいただいているんですけども、新たな公開活用事業を実施したりと考えております。

私からは以上です。

竹内課長

それでは続いてコミュニティスクールの充実になります。

29 年度には上下学園 3 校、上下中学校並びに上下北小学校、上下南小学校をコミュニティスクールに指定をする予定でございます。さらには第一中学校を文部科学省の研修指定校と位置づけましてコミュニティスクールの推進の取り組みをスタートさせたい、このように思っております。

したがって、平成 31 年度には全小中学校 12 校全部の指定が整うといった計画で進めてまいりたいということでございます。

以上です。

谷口課長

続きましてスポーツ活動の充実について平成 29 年度の取り組みでございますが、先ほど申しました府中市スポーツ推進計画というものが第 4 次府中市総合計画や府中学びプランの施策をより具体化するための計画と位置づけておりますので、この計画に掲げる先ほどの 4 つの基本目標を達成することが府中市のスポーツの推進につながっていくと考えておりますので、継続してこの目標を達成のために取り組んでいきたいと考えております。

具体的には現状を分析した中で、十分な取り組みができていない点について特に手をつけていきたいと思っております。その一つといたしましては、スポーツ指導者の養成というものも非常に重要なことだと思いますが、現在の養成講座のようなものは開催しておるのですが、なかなかその内容が直接現場での指導に結びつけられるような成果を上げられていないということで、このあたりを平成大学の福祉健康学部の御協力をいただきながら取り組んでいきたい。できたら今年度後半ぐらいから拡充を図って行って来年度につなげていきたいと思っております。

もう一つは、障害者スポーツの推進という面で府中市ではこれが十分にできていない面もあるのではないかと思います。こ

れも先ほどもちょっと申しました体幹トレーニング講座、こういったものなどを利用しながら、新年度から障害者スポーツの推進というものにも取り組んでいきたいと考えているところでございます。

また、平成 26 年度からプロバスケットボールチームであるドラゴンフライズのプレシーズンマッチが民間の有志の方によって開催されてきているところですが、今年度は市と市教委の共催事業ということにさせていただきまして、私たちが実行委員会のメンバーとして企画運営にかかわらせていただいたところでございます。

来年度以降もこうした民間団体でございますとか指定管理者などと連携しながら、府中の子どもたちにプロのプレーを間近で見たり、また直接指導を受けられるような機会を確保していく取り組みを行っていききたいと考えております。

それからまた施設の改修整備というのも、環境整備をしてあげるということもスポーツ活動を支援するためには重要なことだと思っておりますが、こちらについては予算等もありますので、そういう予算の中で関係課と協議をしながら、計画的に、特に今、活動の中心になっております桜ヶ丘グラウンドでございますとか中須グラウンド、それからウッドアリーナ。こういった中央施設をまず計画的に改修整備等行っていききたいと考えております。

以上でございます。

河本課長

最後に学校施設の整備充実でございますけれども、29 年度につきましては南小学校のトイレの改修、30 年度に栗生小学校のトイレの改修を行いたいと思っておりますところでございますが、これも国庫補助の財源といいますか国庫補助、国庫金をにらみながら、先日仮想計画へは追加で入れていただいているんですけども、補助対象事業になりますので財源を、補助をにらみながら行っていききたいと思っております。

乾式のトイレによりましてプッシュを改善すると。それから現在に合った洋式、トイレの洋式化、トイレのスペースが狭いですので、そこら辺を改善するというようなことを行っていききたいと思っております。

以上です。

戸成市長
教育部長

じゃあ、教育部長さん。

まとめというか若干、昨年にこれ、市長がつくられました府中市教育大綱がございますけど、これの左側のほうに平成 27 年 12 月から 3 年間、それから中ほどから府中市長重点教育施策というものがありますので、ただいま課長が説明いたしました新年度の事業につきまして、これと絡めながら若干の説明をさせていただきます。

まず市長からの重点業務施策 1 行目にグローバル教育、中でも英語教育という表現がございます。

これは教育大綱 1 の小項目 4 の「グローバル教育の充実」の中で、先ほど実用英語技能検定受検者に対する支援を行うと申し上げましたが、これは中 1 から中 3 までの全員、できれば声をかけて小学校 5、6 年までにも対象を広げてぜひ英語学習、英語習得に向けた意欲の向上を図るため支援をいただければと考えておるところでございます。

またグローバル教育と確かな学力の向上とのつながりにもなると思うんですが、先ほど竹内課長の説明にもありましたように、本日の中国新聞朝刊に義務教育学校に向けた動きを報道していただいたところでございます。

この義務教育学校のなった暁にはカリキュラムの例えば前倒しとか、繰り返しあるいは独自のカリキュラムの作成、いろんなメリットがありますが、そういったものを生かす中で例えば小 1 からの外国語活動を導入することを目標にその A L T の 1 名増員を要望させていただいたところでございます。

次に、市長からの重点業務施策の中ほどにあります府中市の歴史を学び、伝統と文化を継承することについてでございます。

これは、先ほど河本課長から備後国府についての説明がございました。現場の仕事が、国府以外もいろんな調査作業があったりしてなかなか多忙ですけど、先ほど申し上げましたような座学、それから天理大学をお呼びしての実際に見て楽しめるようなイベントも組んでおります。

ただ、国の指定を受けるということは本当に 40 年来の悲願が達成されるということで、このチャンスを捉えてもっと広め

ていかないといけない、特に今、備後国府に関心のある層はどうしても研究をされているような方、あるいは歴史に非常に関心のあるような方はこの前の日曜日にも歴史講座を図書館でやって50人満杯、府中高校の学生さんも来ていただくような状況もございましたが、これをもう少し、もう少しというか一般の市民の方にも広げる必要があるのではないかと考えております。

そういった中で、講座等の座学だけではなくて例えば何かグッズですよ、キャラクターとかグッズ、前もちょっと課長とお菓子なんか作りませんかという話をしたんですけど、そういったものに取り組むことによってもっと広い市民層に備後国府をアピールしていけたらなと思っているところでございます。

それから下の段の、府中で育ってよかったと思える郷土への愛着、さらには郷土の発展につながる心の育成を願っております、という一文がございます。これは先ほど竹内課長からありましたコミュニティスクールと関連していると思います。コミュニティスクールによって子どもたちが地域の人々の愛情や歴史文化に触れること、あるいはなじんていくことでそういった心が育成されるのではないのでしょうか。また教育大綱の3の、生涯を通じた学習の充実のところでも谷口課長から学びフェスタの充実体験ブースということで、本年度の学びフェスタから、ものづくり企業に参画していただくような取り組みがございます。府中の子どもたちがものづくりのすばらしさ、府中のものづくりのすばらしさを知らずに出ていってるという実態もございますので、こういったコミュニティスクールあるいはものづくりを提案することによって府中市の若者の定着とかUターンにもつながるものではないかと考えております。

一応私から重点教育施策の3つの文言について、大綱の29年度における予定の項目とあわせて説明させていただきました。

戸成市長 ただいま来年度の教育関連の取り組みにかかるものについて教育部長から説明がございました。皆さんから何か御意見や御質問があれば、何かございませんか。

田中委員 私から。29年度ということで義務教育学校のことは先ほどお話しさせていただきましたので、よろしくお願ひしますということと、グローバル教育の充実で先ほどのALT、1名でいいのか2名なのか、どんなことがしたいのかいつももう一度考えていただいて、そのあたりの増員のことと、あと英検ですね、英語検定に対する支援というのは受験料とかの支援ということですね。合格をフォローするとかいうことじゃなくて。

このあたりの意欲ある受験者に対しては受験料、そういったものの補助ですとか、何か市で負担して4級とか3級あたりまでは中学校で合格できるとか、そういったことの、学力のフォローアップということも必要でしょうけど、やはりそういった経済的な面、受験料ということも何らかの予算立てといたしますか、何かこう子どもたちにできればいいのではないかということと、これが3年間の計画ですので、グローバル教育、英語教育という中でいろんなことを考えていくときに、やはり国語教育というのは切り離せないと思うので、将来的には漢字検定はまだあると思うんですが、漢検あたりとも、そういった国語の関連とも支援ということも将来的にはまた考えていければなああと。ただまずは英検からということをお願いできればと思いますのと、備後国府に関しましてはこれがいい機会だというふうに思いますので、今後まちづくりPR、そういったことを期待しておりますので、どんどんやはりいろんな企画を考えていただきたい。やはり子どもたちも年に1回は、社会見学ではないですが、そういった歴史のものですとか、こういった場所に必ず社会見学にこう一度は行って、市内を回れるぐらいの学校としてのツアーをあたりもできたらいいのではないかなと思っております。

コミュニティスクールも徐々に進んでおりますので、学校と地域と、信頼関係づくりのものとして、どんどん新しい行事ができていくのもいいですが、芯の、核心の部分をしっかりしていただいて、地域によってはまだあのコミュニティスクールって何とか、何かこう温度差があるようなので、そういったことがないように関係、信頼関係づくりで子どもたちに返していく、親に返していくんですよといったところをしっかりと意識づ

けをしていただけるようお願いできればと思います。

施設の部分で最後、もう一点ですが、安全というところで新しくできた学校ももう一度点検をしていただいたりということと、トイレは本当に今、清掃もきれいに、掃除もしていただけていますが、雰囲気とにおいというところではなかなか掃除だけでは賄えなかったというところがあります。

これが進んでいくというのは非常にいいことだと思いますので、こういったところも含めてほかもできれば、いいところを見つけてどんどんできるような環境とか予算とかあったらいいなと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

戸成市長
骨田委員

ほかにありませんか。何か、どうぞ。

伝統と文化の継承について、備後国府を生かしたまちづくりは、教育委員会だけではなく市全体の問題だと思うんですけども、この中でも予定のところにあるように、道の駅と生涯学習センター、図書館というような文化・芸術分野で連携が大事になっていくと思うんですが。いろんなところで単発的にするよりは、総合プロデュース力というものが働いていかないことには、しっかりと全国的にPRしていくには弱いんじゃないでしょうか。

戸成市長

今まで指定を受けられたところなんかもね、参考にしながら。それをさらに飛躍したもので、持っていければありがたいですね。

骨田委員

学校のことについては、小中一貫教育からの義務教育学校ということですが、府中市は小中一貫教育とコミュニティスクールとの両翼でやってきたんですけども、昨日の会議の中でメリット、デメリットについての議論が大分ありました。時代に沿った教育制度ということで移行が必然ということであれば、小中一貫は13年やってきまして、成果が実感としてあると思うんです、各学校の中に。それをベースにして義務教育学校になったり、併設型になったりした時点でいろんなことができるようにまたさらに進化していくので、メリットがあるからするんだよというよりは、もう私たちがメリットをつくっていこうというぐらいの気持ちでぜひしっかりとやっていきたいと思

います。コミュニティスクールなので地域の私たちも当然当事者という気持ちでしっかりかかわっていききたいですね。

古川委員 コミュニティスクールの中に、そういうことを位置づけて義務教育学校はこうなんだよということの認識を入れるとよいだろうと思いますね。

先ほども田中委員からいろいろと言われたので、そんなに重複してすることは。

戸成市長 何かほかありませんか。

田中委員 先ほどからこのグローバル教育のところですけども、上下中学校ですか、タブレットか何かその全員とかいう。全市にそういうものを、いつまでに行き渡るようにされようとしているのかわかれば。

竹内課長 そうですね、上下中学校にこのたびタブレットは納品させていただきましたけども、実はパソコン教室の、まずはデスクトップのそこをタブレットに随時切りかえをしていきたいというところをまず進めておりますので、ここ3年ぐらいのうちにはパソコンの期限がどうしてもまいますので、それと同時に全校のパソコンをタブレット化に進めていきたいと。こういうふうに思っておるところでございます。

戸成市長 パソコンもそうですけど、なかなかクリアしなきゃいかん問題があるかもしれませんので、持ち帰り用のノートがあり、いろいろありますわね、そういうものやあるいは個人情報なんか、そういうふうなことはきちっとやっていただいて、進めていただきたいということは当然のことですけどね。

教育長 タブレットは、今申したように順次入れかえていってパソコン型にして、どういうんですかね子どもたちが学習に使いやすいような形で設置したいという思いがありますので、さらにそれを例えばどっかの市がやっておられます一人1台までにしてね、さらに充実させると、まだそこまでは予算のこともありますので、なかなか難しいということで、とりあえず子どもの今の学校での学習にどう生かしていくか、そこを重点的に考えていきたいと思います。

当然そうなるとパソコンをタブレットにかえるだけじゃなくてそれに関連した機器も若干、今回電子黒板も上下中学校に

入れさせていただきましたけれども、そういったところも充実も、考えていかなきゃいけないのかなというところも当然出てくると思っております。

上下中学校がどれだけの成果を上げてくれるかね。それも今回研究会があるので楽しみにはしているところもあるんですけど。将来的には当然必要になってくるものだと思います。

戸成市長 7項目あるわけですが、まずいかに学力向上ですね。確かな学力を伸ばすということから言えば、今回義務教育学校ということで非常に、私は最初の小中一貫校のころにもたびたび言っていたんですけども、非常に難しい問題がありますが、それをいかにしてクリアしていくかということが大事だろうと思うんですね。

最初に呉ですね。学校を視察したことがございますが、あのときも学校では非常に厳しいといいますか、難しいですね、段階でさてな、これは不安でいけませんみたいな話も聞きました。しかしそれはやはりいろいろやることによって、クリアできる問題があると、努力すればクリアできるということが私はあると思うんです。ですから、このたび小中一貫教育を発展的に今度は義務教育のほうへしていくということは、私は新しい時代に即してると思うんです。教育も変わっていかねばならんし、その中でクリアしなきゃならない問題もたくさんある、それはしっかりと皆さんで議論をしていただいて、頑張っ、その方向へ進めていただきたいと思いますと思っております。この道德教育も、これから文科省なんかもこれから非常に力を入れるというふうなことでございますので、やはりこれもしっかりと私は道德教育は本当にやらなきゃいかんと思っておりますので、そういう意味ではこれからしっかりと頑張っ、いかねばならないと思っております。

それからグローバル教育は、先ほど課長も言っておりますが、これは私も言ったんですけど、3級ぐらい取らにゃあ学校を卒業できんぞというぐらいやんなさいというところから、これがどんどん進化してきたような状況でございまして、予算がどうなるかわかりませんが、予算というのは全体を見ながら予算を決めていくということになりますので、この辺はこれからしっか

りと検討していただいて協議していただいて、前向きに取り組んでいただきたいと思いますと思っております。

もちろん備後国府の問題でございますが、これもやはり先ほどからたびたび出ておりますように、これをどういうふうにしてまちづくりへつなげていくかということ、そしてそれを教育の中にどういうふうにつなげていくかという、この三方をしっかりと見きわめていただいて、頑張りたいと考えております。

それからコミュニティスクール、あるいはスポーツ活動、こういうものも当然、先ほど生涯学習課長が言われたように障害者のスポーツというのはこれ、大事になってくるだろうと思えます。パラリンピックからだんだん有名になって、それに向かってどんどん進んでいくというこの障害者の姿を見たときに、やはりこれは我々としても支援をし充実していかなければならないと強く感じておるところでございますので、どうぞしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

それから学校施設の件でございますが、なかなかこれが予算が伴うことで、ない袖は振れないというようなこともございますが、しかしこれから学校施設について少しずつ進めていくと、一度に大きい金がなかなか出てこないというのが実情でございますよ。国も借金を抱えていますので、もちろん市も大変な状況である。いうことは皆さんも御承知いただいていると思えますので、これをうまくしてどれだけの予算が配分できるかというふうなことは、きょうは総務部長も来ていらっしゃるののでぜひ一つ広く御検討いただいて、前向きに取り組んでいただければありがたいと思っております。

ほかに何かないようでしたら、平成 29 年度の予算編成の具体的なことにつきましては、教育委員会が議論しておりますように今後府中市全体の調整が必要となるということでございまして、御承知のとおり府中市の財政は先ほども申し上げましたように非常に厳しい状況でございますが、教育行政につきましても主要施策についてはできる限り実現していきたいと考えております。

またハードの面、あるいはソフトの面いろいろございますが、

市民の目線でしっかりと現実・現状を分析し、市民の皆様はその効果が実感していただける思い切った取り組みが必要であるろうと思っております。

私がいつも申し上げておりますように、市民の目線というのが非常にこれからの時代は特に大事になってくると思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

ほかに何か、協議したい内容はございますか。

かなり議論が尽くされたようなので、これで。本日は皆さんからたくさんの御意見をいただいて、これから来年度の予算編成に備えまして教育関連の施策、具体的にしていきたいと思いますと考えております。引き続きの御助言、御支援を賜りますようによろしくお願い申し上げます以上をもちまして、総合教育会議を終了したいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

16時50分 終了